

平成 25 年

雲南市議会 12 月定例会 一般質問通告一覧表

【一般質問日程 平成 25 年 12 月 9 日～12 日】

平成 25 年雲南市議会 12 月定例会 一般質問通告一覧表 目次

順番	議席番号／氏名	質問方式	ページ	順番	議員番号／氏名	質問方式	ページ
1	19 / 堀江治之	一問一答	1, 2	10	15 / 細田 実	一問一答	14, 15
2	2 / 中村辰眞	一問一答	2, 3	11	10 / 高橋雅彦	一問一答	15, 16
3	12 / 土江良治	一問一答	4, 5	12	6 / 多賀三雄	一問一答	17
4	7 / 細木照子	一 括	5, 6	13	8 / 佐藤隆司	一問一答	18, 19
5	21 / 藤原信宏	一問一答	7, 8	14	16 / 山崎正幸	一問一答	19, 20
6	20 / 小林眞二	一問一答	8～10	15	17 / 堀江 眞	一問一答	20～22
7	3 / 原 祐二	一問一答	10, 11	16	14 / 福島光浩	一問一答	22, 23
8	1 / 松林孝之	一問一答	11, 12	17	18 / 周藤 強	一問一答	23～25
9	4 / 矢壁正弘	一問一答	12～14	18	9 / 周藤正志	一問一答	25, 26

平成25年雲南市議会12月定例会一般質問通告一覧表

平成25年12月18日

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
1	19	堀江治之 (一問一答)	<p>1. 雲南市のふるさと納税の現状と今後の取り組み方針について</p> <p>2. 小水力発電について</p> <p>3. いじめ防止対策推進法施行について</p>	<p>(1)ふるさと納税が全国の自治体で取り組まれているが、雲南市の取り組みの現状（納税の依頼と実績・納税者へのお礼等）について伺う。</p> <p>(2)ふるさと納税に期待するものは何か伺う。</p> <p>(3)今後のふるさと納税の取り組み方針について伺う。</p> <p>(1)小（マイクロ）水力発電施設設置可能地調査について</p> <p>①平成24年度に島根県による調査の候補地が市内で4地区が示されていたが、その調査結果はどうであったのか伺う。</p> <p>②平成25年度の雲南市の予算に調査委託費が計上されているが、その調査状況を伺う。</p> <p>(2)施設の新設、既存の施設を大規模改修することにより、20年間売電価格が大幅に引き上げられる制度を利用し、隣県の同様施設で改修が計画されているが、田井小水力発電所の大規模改修について雲南市の考えを伺う。</p> <p>(1)いじめ防止対策推進法施行に伴う今後の対応について</p> <p>①いじめ防止対策推進法が施行されたが、施行に対する教育委員会としての所感を伺う。</p> <p>②「いじめ防止等のための対策に関する基本方針」の策定をどう考えているのか伺う。</p> <p>③「いじめ防止問題対策連絡協議会」の設置の考えがあるのか伺う。</p> <p>④「いじめ防止等に関する措置」についてどのような体制で取り組まれるのか伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			4. 水道事業について	<p>(1) 飲用水井戸について</p> <p>① 市内の水道未普及地域で、井戸による飲用水の確保がされている世帯について、その現状について伺う。</p> <p>② 井戸施設の中には耐用年数を超える施設もあると思うが、修繕・改修の必要となっている井戸はないのか伺う。あるとすればどのような現状か伺う。</p> <p>③ 今後、飲用水が確保できなくなった井戸についての対応方針について伺う。</p>	
2	2	中 村 辰 眞 (一問一答)	<p>1. 子ども虐待防止オレンジリボン運動について</p> <p>2. 出雲養護学校雲南分教室に関して</p>	<p>(1) 11月は子ども虐待防止推進月間であった。近年子どもに対する虐待が全国的に増加しているが、島根県内における現状を伺う。</p> <p>(2) 2004年栃木県小山市で3歳と4歳の兄弟が父親の友人に虐待を受けつづけた結果、命を落とした。この事件にオレンジリボン運動の起源がある。この事件についての所感と子どもとは総体的にどのような存在か率直な見解を伺う。</p> <p>(3) オレンジリボン運動に対して市の取り組みを伺う。</p> <p>(4) 啓発はまず、職員からと考える。雲南市職員服務規程第27条に、職員は常に雲南市職員記章を左胸部につけなければならないとある。記章にあわせて、他の物(バッジ等)を付けてはならないとした条項は無いと認識した。職員がオレンジリボンをつけて職務を行うことで啓発につながると考えるが、そのような考えはないか。</p> <p>(1) 平成27年度開校予定であるが、来年度小学校入学から現在中学校3年生までの市内特別支援学級通学者および県内特別支援学校通学者の内、分教室入学規定にある障害種別「知的・軽度・単一障害」に当てはまる児童生徒の人数を伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 軽自動車税について	<p>(2) 9月26日島根県から建物の見取り図を示しての説明会が行われ、同時にスクールバスについての説明もあった。その運行計画は、利用者にとって不十分であり、不安を感じた。市としての所見を伺う。</p> <p>(3) スクールバスが運行されない下校時について、自力で帰宅することを考えると、雲南圏域1市2町のバスの連携、雲南市民バスとJRとの接続調整が必要と考えるが見解を伺う。</p> <p>(4) 開校後に移動支援サービスの利用増加が考えられる。市内で移動支援サービスを実施している事業所数と、移動支援サービスを行っている事業所で、正規の認可を受けて人的移動を実行できる事業所の数を伺う。</p> <p>(5) 松江市では、ハッピーアフタースクールのように、生徒が放課後利用できる場所があるが、分教室では設置困難と考える。児童デーサービスや放課後デーサービスを行う事業所の拡大が必要と考えるが見解を伺う。</p> <p>(1) 市の4輪軽自動車の課税台数は何台か。</p> <p>(2) 昨今軽自動車税の引き上げが話題となっているが、雲南市としての見解を伺う。</p> <p>(3) 平成12年に旧加茂町、三刀屋町、吉田村、掛合町が、商品であって使用しない軽自動車（販売目的の中古車）の免除規定を税条例から削除され、合併後の雲南市税条例でも規定されていない。削除された経緯を伺う。</p> <p>(4) 商品であって使用しない軽自動車（販売目的の中古車）に対して免除する考えは無いのか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
3	12	土江良治 (一問一答)	<p>1. 雲南市のひきこもり対応とその解消策について</p> <p>2. 出雲大社遷宮後の集客対策について</p>	<p>雲南市は子供、子育て、介護など、色々な現代社会対応施策が「健康増進実施計画」などをもとに展開されている。しかし、不登校、解雇などを基因とするひきこもり対応が目に見えてこないように思う。これもしっかりとした対応ができないと、大目標“健康なまちづくり”がおぼつかない。次の点を伺う。</p> <p>(1)ひきこもりの実態はどのように把握されているか。該当者と思われる人は何人くらいと認識されているか。(同居、単身別及び不登校の延長者、解雇、非正規者など)</p> <p>(2)市の窓口は相談しやすい体制となっているか。また、関係機関との連携は十分に図れているのか。</p> <p>(3)市で受けた相談のうち、若者サポートステーションなど他の機関へ紹介された後の追跡はなされているか。</p> <p>(4)同居者がいなくなれば、貧困・介護・孤立が始まる。これらを踏まえ、職業訓練など今後どのような対策を必要と考えているか。</p> <p>(1)遷宮の効果についてどのように集約されようとしているか。</p> <p>(2)遷宮後、どのような観光集客対策を考えているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・某化粧品会社が島根県が美肌日本一県連続トップと発表。これを傍観している手はない。遷宮後は自治体の知恵比べ。雲南市版「美肌の秘密紀行」の旅行企画を提案する。雲南市内に伝わる、あるいは新規開発された食品、温泉などを駆使し、“滞在してさらに美肌になるメニュー”とパンフレットにまとめ、旅行コースとしてPRしてはどうか。 ・地域に残る文化的な宝を見つめ直し、次世代に継承する機運を高めようとする「雲南市民文化遺産制度」創設を提案する。有形、無形を問わない、いわゆる「足元の宝」に対する市民への啓発と同時に、 	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 企業団地造成から完成までに行うべき企業誘致活動について	<p>観光など交流人口にもつながるのではないか。</p> <p>例) 岩手県遠野市「遠野遺産」、京都市「市民が残したい京都をつなぐ無形文化遺産」、新潟市「市民文化遺産」、太宰府市「文化遺産」、庄原市地域資源「備北八十五話」など。</p> <p>加茂町での企業団地造成着手に向け、鋭意努力が行われている。完成してからのセールスは手遅れと考える。</p> <p>(1)震災後、企業はリスク分散をかね、地方に立地を目指しているとも聞くが、これまでどのような手応えを感じているか。</p> <p>(2)完成までに行うべきセールスの方法は、どのような手立てが考えられるか。</p> <p>(3)完成までの企業誘致手順として、空屋、廃公共施設をサテライトオフィス（職住接近を目的に、都市周辺部に置く「衛星的」なオフィス）として、企業に活用していただくことは考えられないか。</p>	
4	7	細 木 照 子 (一 括)	1. 原子力防災対策について 2. 心の病対策について	<p>(1)市では、出雲市及び安来市と3市で島根県と原子力周辺地域住民の安全確保等に関する協定の覚書の締結や、経済産業省、資源エネルギー庁へ申し入れをされるなど、安全対策に取り組みをされている。しかし、人間の技術能力で完全に制御（コントロール）できない危険なものは、使用すべきではないと考える。原子力発電は、今のところ、制御できない部分があり、やめる以外に完全な防災対策は無いと考えるが、市として『即時、脱原発』の判断をされる考えはないか、伺う。</p> <p>(1)新聞社の推計によると、2011年度までの3年間でサラリーマンの心の病が2割増え、心の病の受診は、最近10年で倍増したといわれ、心の病の内訳は、うつ病などの「気分障害」やパニック障害などの「神経症性障害」が8割を超すといわれている。この原因は、長時間労働による過労、精神的緊張（ストレス）と関係が深いと言われているが、</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 保険証などカード類の文字の表示について	市内の各職場の勤務実態の把握や予防の対策がされているか伺う。 (1)機械化が進む中で、保険証などの書類がカード化されているが、文字が小さくなり、高齢者には読み取れないものが多い。カードの裏面に書かれている「注意事項」など、読めるような大きさにならないか伺う。	
			4. 市民バスの料金について	(1) J R 東日本などでは、消費税の引き上げに伴い、1円単位の運賃が考えられているといわれるなど、交通機関において1円単位の可能性はあると思われる。高齢者など動くバスの中では、小銭の繰り出しが困難で、十分な配慮が必要だと思われる。今回は市のバス料金「一乗車200円」の条例改正案であるが、今後とも1円単位や10円単位の運賃にはならない配慮が必要だと思うが、現在の考え方を伺う。	
			5. 道路の「路面表示」の整備について	(1)市内の道路で、停止線などの重要な路面表示がほとんど消えて、わかりにくい所がある。道路によって管理が、国、県、市と違うと思うが、連携を取り合い、路面表示をはっきりとさせて、交通安全に万全を記すべきと思うが、取り組み状況を伺う。	
			6. 通学路脇の樹木等の繁茂対策について	(1)通学路で、脇に繁茂した樹木等が強い風や大雪などで倒れたり、枝が裂けたりする危険性のあるところがある。通学路脇の樹木等の点検などは、どのように行われているか伺う。	
			7. 公共施設の「音響設備」の音質の向上について	(1)交流センターなど公共施設の音響設備の音質が悪く、籠もった様な声になり、高齢者など難聴の方には、言葉が聞き取れなくて、不便・不快な思いをされている。マイクの質など、専門の方の診断を受けて、早急に善処しなくてはならない事であると思うが、そのような考えはないか。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
5	21	藤原信宏 (一問一答)	1. 公共建設事業に係る諸課題について	<p>(1)個別事業について</p> <p>①新庁舎建設について、平成24年3月議会において総務常任委員長報告した「現位置での建設を是とするための要件」6項目の、整理・取り組み状況を伺う。</p> <p>②国道54号三刀屋拡幅事業について、県道インター線交点から広島側（三刀屋中学校前まで）L=2.4km区間の、今後の取り組み方針を伺う。</p> <p>③国道54号のサイクリングロード化計画が実現すれば、国道がどのように整備されるか。</p> <p>(2)15ヵ月予算による経済対策の現状について</p> <p>①繰越事業並びに25年度事業の執行状況に併せ、25年度事業の年度内完了の見込みについて伺う。</p> <p>②地域別の投資額や、入札形態等のバランスを考慮した発注を行っているか。</p> <p>③毎年の経済対策により、用地補償を行った次年度以降に本工事を行うといったマネジメントサイクルが崩れ、明許繰越が恒常化する。こうした現状をどのように評価しているか。問題点・課題等があるとすればどのように是正していくのか。</p> <p>④土地開発公社が、土地等の先行取得・造成という本来の機能を十分に発揮していないように思うが、どう評価しているか。</p> <p>(3)入札制度について</p> <p>①最低制限価格を設定しないのは何故か。低入札制限をどのように管理しているか。</p> <p>②総合評価方式一般競争入札の採用についての考えと実施状況を伺う。</p> <p>(4)工事費の積算について</p> <p>①庁舎や病院改築等の大型建築事業において、可能な限り地域の実勢</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>単価に見合う積算となるようしっかりチェックし、適正価格での市内業者への発注を図ることについての所見を伺う。</p> <p>②市単独土木事業の諸経费率改善の考え方を伺う。</p> <p>(5)建設業界では、現場を管理する技術者を含め、オペレーター等の若手労働者を確保することが喫緊の課題である。どのように考え、市としてどう取り組んでいくか。</p> <p>(6)小規模事業者の受注機会の確保と拡大についての考えを伺う。</p> <p>(7)除雪対策について</p> <p>①業者の体力が弱っている昨今、除雪機械の更新には高いハードルがあり、オペレーター不足の問題もある。行政として、今後の道路除雪がどうあるべきかを考える時期にきている。現状をどのように認識し、今後の方向性をどう考えているか。</p> <p>②たたらば壱番地の屋根の雪ズリの危険を含めた除雪対策はどう考えているか。</p> <p>③たたらば壱番地に関連し、トイレ対策について、エリアを拡大し農業集落排水施設への下水管接続を検討してはどうか。</p> <p>(8)市長は、公共事業の必要性や建設産業の担う役割をどのように認識し、公共投資の確保や適正な利益が確保できる公共調達制度の改善に向けて、どう考えるか。</p>	
6	20	小林 眞 二 (一問一答)	1. 10年を経た指定管理者制度について	<p>公の施設の管理に指定管理制度が創設されてから10年が経った。雲南市における同制度の運用と現状について問う。</p> <p>(1)雲南市において主だった観光宿泊施設、文化施設、スポーツ施設について、どのような指定管理先になっているのか伺う。</p> <p>(2)指定管理の更新にあたり、従前の管理者が引き続き指定管理者となる施設が多い。再指定にあたっての選定基準や選定手続きを事前公表するなど、公平な公募をしているのか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 均衡のとれた施策の実施について	<p>(3)全国的にも同制度については、管理者側の不適切な対応や、指定した自治体側の監督不行き届きなど、さまざまな問題が発生している。</p> <p>過去、総務省通達で運用について、①住民サービスの質の確保、②適切なモニタリングや評価の実施、③指定管理者との適切な責任分担など留意事項が示されているが、今までに施設のあり方や改善すべき点など、制度運用についてどのように検討されたのか問う。</p> <p>(4)指定管理されている中で、国民宿舎「清嵐荘」があるが、過般、「新築計画の中止を求める陳情」が提出された。地域振興や健全経営に基づく方針を地元業界に丁寧な説明責任を果たすことが必要と思われるが見解を問う。</p> <p>諸施策の実施にあたり、市内で均衡のとれた取り組みが必要であると考える。その中であって、デマンド型乗合いタクシー（デマンドタクシー）について、考え方を問う。</p> <p>(1)海潮地区、鍋山地区それぞれの人口と、その内高齢者（65歳以上）は何人か。</p> <p>(2)市民バスとデマンドタクシーでは、輸送形態が基本的にどのように違うのか問う。</p> <p>(3)2地区の実証運行の結果、路線バスと異なってどのような評価であったか。</p> <p>(4)評価の高い事業にもかかわらず、全体計画が示されていない。場当り的であり、市民間では不公平感が残る。交通弱者、高齢者対策に、ぜひとも地区ごとに取り入れるべきと思うが今後の考え方は。</p> <p>(5)この事業が対象地域に、まだまだ周知が徹底されていないように思えるが対策は。</p> <p>(6)デマンドタクシー事業のように小出し手法だと、計画の道すじが見えず、また、地域間格差が生じる原因ともなる。何年たっても「一体感」</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				の醸成、また市民意識調査で見られるように合併して「良かった」につながらないと思うが見解を伺う。	
7	3	原 祐 二 (一問一答)	1. 耕作放棄地について	<p>(1)現状と影響について</p> <p>①平成25年度の耕作放棄地全体調査における耕作放棄地区分の緑色、黄色、赤色の面積変化について伺う。</p> <p>②耕作放棄地の発生がもたらす、地域定住への影響について現状と所感を伺う。</p> <p>(2)農地の集積について</p> <p>①農地利用集積円滑化事業での委託契約の実績、保全のための管理の実績について伺う。</p> <p>②農地利用集積円滑化事業では、「農地利用集積円滑化事業のパンフレットの配布、相談窓口の設置、説明会の開催等を通じた普及啓発活動に取り組む」とあるが、実施状況を伺う。</p> <p>③雲南市担い手農地集積事業奨励金の交付状況について伺う。</p> <p>④耕作放棄地の防止と定住環境の維持を図るため、担い手農地集積事業における対象要件の緩和の可否について伺う。</p> <p>⑤荒廃程度が軽い耕作放棄地の再生作業について、支援制度の創設の考えがあるか伺う。</p> <p>(3)担い手について</p> <p>①担い手である認定農業者、集落営農組織の推移について所見を伺う。</p> <p>②担い手育成支援室を中心に行われている、構成機関との連絡調整、支援の内容、担い手拡大の成果について伺う。</p> <p>③担い手対策としての「農業経営基盤の強化の促進に関する基本構想」と「人・農地プラン」の取り組み状況と地域への周知について伺う。</p> <p>④認定農業者へのステップアップ事業活用状況と次年度の計画について伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 高校の魅力化について	<p>⑤認定農業者の高齢化による担い手不足が懸念されるが、若手認定農業者の育成のため検討期から安定・拡大期までタイミングの良い支援策の検討について伺う。</p> <p>(1)市内の県立高校3校について、役割と特色についてどう感じているか所感を伺う。</p> <p>(2)今後の市内県立高校3校について、行政と高校が一体となり魅力ある高校を目指すための行政支援の方向性について伺う。</p> <p>(3)少子化による生徒減少と魅力ある高校の存続のため、高校再編についての所感を伺う。</p>	
8	1	松 林 孝 之 (一問一答)	1. 中小企業振興基本条例について	<p>(1)本年度内の条例制定に向け、中小企業家同友会や、島根大学、雲南市商工会等と連携をとりながら協議がなされている。理念条例として、雲南市ならではの特徴ある条項は考えられているか。また、進捗状況はどうか。</p> <p>(2)雲南市産業振興条例が制定されているが、本条例の位置づけを伺う。また、産業振興センターが設置され、事業推進体制として産業振興会議が構成されている。メンバーの構成と会議の開催状況及びどのような議論がされているのか伺う。</p> <p>(3)産業振興ビジョンを策定するにあたり、産業分野(農林・商工・観光)の連携はとても重要である。しかし、行政と民間の関係機関等が広く柔軟に協力し、具体的且つ実効的な事業展開をする為には、事務局の体制等に工夫が必要である。特に地域経済の中心である、商工施策と観光施策は喫緊の課題である。組織体制の改革も含め、その考えはあるのか伺う。(松江市：まつえ産業支援センター、八尾市：中小企業サポートセンター、雲南市観光協会)</p> <p>(4)中小企業振興基本条例(仮称)では、「地域経済振興会議」を設け、市内</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 住宅総務管理事業について	<p>外から広くたくさん意見収集を図り、理念の実現を図るとしているが、そのあり方と位置づけは。</p> <p>(1)木造住宅耐震化等促進事業補助金と住宅改修促進事業補助金の予算執行状況はどうか。</p> <p>(2)3月定例会において「住宅改修促進事業補助金は本年度をもって終了予定であるが、動向をみながら弾力的に対応する」とのことだが、継続の意向はあるか。</p> <p>(3)住環境の向上が目的の事業であるが、地元経済の好循環に対しても大きな影響を与えると考える。平成26年4月からの消費税引き上げに伴い、様々な悪影響が懸念される。多様化する市民ニーズのなか、「二世帯住宅改修補助」をメニューに加えることで、UIターンの定住化促進や複数世代同居促進を図ることで、定住人口の増加や地域経済、さらに待機児童対策や子育てサポート、また、高齢者の介護支援などといった多方面に好影響をもたらすと考えるが、所感を伺う。</p>	
9	4	矢 壁 正 弘 (一問一答)	1. 雲南市病後児保育事業について	<p>(1)大東病後児保育つくしと掛合町にある2施設の利用状況を伺う。</p> <p>(2)病後児施設が、各町に1施設ずつ設置できれば一層の子育て支援の充実が図られると思うが、増設の考えはないのか伺う。</p> <p>(3)子育てするなら雲南市とのキャッチフレーズだが、隣接の松江市・出雲市に比べ1日当たりの利用料金が低い。同額かそれ以下にする考えはないのか伺う。</p> <p>(4)この事業が、子育て世代に周知されていないように思うが見解を伺う。又、これからの周知拡大をどのようにするのか伺う。</p> <p>(5)病後の幼児・児童を預かるには、冷暖房施設など室内環境の改善が必要であるが、改善する考えはないのか伺う。</p> <p>(6)改築される雲南市立病院の院内に、病後児保育の施設を設置する考え</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 雲南市男女共同 参画都市宣言につ いて	<p>はないか。設置されれば保護者も安心して預けることができ、利用件数も増加すると思うが見解を伺う。</p> <p>(7)近隣の松江市・出雲市は病児・病後児保育制度であり、病気の「進行期」または「回復期」まで預かる制度となっている。雲南市は「進行期」の幼児・児童は預けられない制度となっているが、病児・病後児保育制度に移行する考えはないのか伺う。</p> <p>(1)9月定例会で議論がされた中で、全国的に男女共同参画の気運が低調であり、雲南市の市政10周年を1年後に控え、ムードを盛り上げるためにこの宣言をするとの答弁であった。雲南市はこれまで、雲南市男女共同参画市民宣言を宣言しているが、なぜ男女共同参画の気運が低調であったのか所見を伺う。</p> <p>(2)雲南市男女共同参画都市宣言は10条からなる宣言だが、これ全てを充実させるためには時間がかかると思う。今、何を重点項目として取り組んでいくのか見解を伺う。</p> <p>(3)宣言にあるように、家事・育児・介護は家族で話し合いながら取りまなければならない。家事・育児は女性が仕事を離れていく大きな要件であり、男性の協力が必要である。雲南市役所において、男性が育児休業を申請したケースがあるか伺う。</p> <p>(4)男性の育児休業は、夫婦が協力して育児をしていく上で重要であり、雲南市としても率先して取り組んでいく必要があると思うが、見解を伺う。</p> <p>(5)雲南市内の民間企業にも浸透させていかなければならない。市としての見解を伺う。</p> <p>(6)雲南市役所内で、介護休暇を申請されたケースはあるのか伺う。また、あれば男女別の申請件数を伺う。</p> <p>(7)介護休暇も高齢化が進む中、育児休業同様に市として率先して取り組</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				んでいく必要があると思うが、見解を伺う。	
10	15	細田 実 (一問一答)	1. 原子力防災対策 と島根原発再稼働 問題について	<p>中国電力は松江市並びに島根県に対し、島根原発2号機に関する「規制基準適合性審査」申請に関する事前了解願を行った。東京電力原発事故の全容解明に基づく抜本的な安全対策が取られないまま、再稼働の手続きが進められれば、島根県、雲南市も福島県と同様な事態が生ずる危険性が高まる。再稼働申請にどのように対応するかを中心に伺う。</p> <p>(1)「島根原子力発電所周辺地域住民の安全確保に関する協定」に係る覚書の締結に関する経緯とその趣旨、運用について伺う。</p> <p>(2)松江市長は周辺自治体が安全協定締結を求めていることに対し、「松江市を優先すべき」との発言が報道され、出雲市長が批判との報道もあった。事故があれば周辺自治体も同じリスクを負い、そのための避難訓練もされている。立地自治体、周辺自治体が共同して安全対策を求めべきと思うが、市長の見解を伺う。</p> <p>(3)中国電力社長も原発は「100%安全と言い難い」との新聞報道があった。原子力規制事務所所長も「100%安全はない」との説明であった。人間が作り出すもの100%はないが、原発は原発事故の教訓から100%安全でなければ住民は守れないと考えるが市長の見解はどうか。</p> <p>(4)原発避難訓練を行われたが、その教訓と事故の際の実効性はどのように考えているか。訓練は重要であるが、実際の事故では車での避難とされるなど、避難計画、訓練とも不十分な中での再稼働申請は時期尚早ではないのか。</p> <p>(5)新しい原発規制基準は立地審査基準を廃止するなど多くの問題点が指摘されている。規制基準の問題点など住民への学習の機会や専門家の意見を聴くなど、市民の議論を深める機会を持つべきではないか。</p> <p>(6)10月に福島市、飯舘村を視察し被害の一端を見た。原発に対する判</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>断に現場の実態を知ることが大切ではないのか。市長は東京電力原発事故の被害現場の状況をどのように認識しているのか。</p> <p>(7)市長は「再稼働にあたっては雲南市が求めている安全協定が結ばれることがまずなくてはならない」と議会で表明されている。先の市議会全員協議会で「申請内容の説明を受け、議会の意見を聞いて県へ意見をいう」旨の考えを述べられたが、現在の再稼働への考え、市長の意見の時期についてはどのように考えているのか。</p>	
1 1	1 0	高 橋 雅 彦 (一問一答)	1. 農業政策について	<p>(1)国の農業政策大転換について</p> <p>①生産調整の廃止、減反補助金の半減、農地中間管理機構等、一連の国の農業政策の方針転換について市長の所見を伺う。</p> <p>②意欲ある農業者や農業法人、企業の農業参入により強い日本農業を目指す政策であり、小規模農家を淘汰するものとの意見もある。本来なら、平成11年に制定された「食料・農業・農村基本法」を見直した中で進めるべきものとする。基本政策が見えない中で、雲南市の農業にどのような影響が想定されるのか、現時点での所見を伺う。</p> <p>③減反補助金が半減することから、飼料米へシフトすると言われた農業生産者もある。市としてはどのように考えているのか。</p> <p>(2)TPPの農業交渉と雲南市の農業施策について</p> <p>①TPPについては年内合意をめざし、関係諸国と交渉がされている。特に農産品の重要5品目(米と麦、砂糖、牛、豚肉、乳製品 細目586品目)について、米国は20年以上の猶予期間の中で全廃を要求しているとの情報もある。仮に認めた場合、雲南市に影響のある品目、あるいは細目は何か伺う。</p> <p>②現状ではTPP交渉合意には、農業関係の譲歩が必要と思う国民が増えている状況は否めない。雲南市は、この地域の素晴らしい資</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 道路整備について	<p>源を活用した農業振興に努力しており、定住対策の柱の一部にもなっている。国の大型農業育成に向かない雲南市では、コストが高くても購入される農産物と加工食品を提供しなければならない。農業の6次産業化は正しい方向と考えるが、今一度、市の農業振興策の点検と地産地消の原点を見直す必要はないか伺う。</p> <p>また、6次産業化の実現を今以上に早めていく必要があると考える。その考えはないか伺う。</p> <p>③国の農業政策が大きく変わろうとしている中で、市の農業政策も見直す必要があり、小さな農業でも生き残れる市独自の農業政策提言が必要と考える。そのためには、雲南市、奥出雲町、飯南町とJAで構成されている農業振興協議会でプロジェクトを作り、県や国への要望と戦略的農業振興策を提言していく体制を早急に構築すべきと提案するがその考えはないか。</p> <p>(1)合併前の道路整備構想について</p> <p>①旧町村で道路整備構想に盛り込まれていた事業が、合併後要望、陳情がないため途中で工事が中断しているとの話を聞く。市は、合併前の各町から引き継いでいないので、実施計画に入れていないとの考えのようだが、市民としてはどうなっているかとの疑問の声がある。そのようなお話を把握しているか伺う。</p> <p>②当該案件については、今後どのような手続きが必要か伺う。</p> <p>③こうした問題についても一定の整理をし、新しい総合計画に盛り込み、示していく必要があると考えるが、所見を伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
12	6	多賀三雄 (一問一答)	1. 介護保険制度の 見直しについて	(1)現在検討されている介護保険制度を改正の主な内容はどのように把握しているのか。 (2)雲南市への影響について ①現行の介護保険事業所の数及び利用者数は。そのうちの要支援1・2、要介護度1・2の人数、うち特老入所者数は。 ②制度見直しにより、どんな影響が予想されるか。 ③実施された場合には、市や広域連合はどんな対応をするか。 ④民間のケア付き集合住宅は市内にどれだけあるか。ケア付き住宅をどう評価するか。 ⑤市は介護保険制度において充実を望むことがあるのか。それは、何か。 ⑥市は見直し案に対してどんな態度をとるか。	
			2. 原発・エネルギー政策について	(1)福島事故、立地審査規準、核廃棄物処理、想定地震動、避難計画を考慮して、市は安全審査規準を、現時点でどう評価しているか。 (2)欠陥新規準、安全協定未締結などから、市は安全審査申請、再稼働に反対すべきでは。 (3)市も、原発に頼らず、再生可能エネルギーでエネルギー自立地域を目指してはどうか。電気料金、安定供給、CO ₂ 削減は理由にならないと思う。市のエネルギー政策をどのように考えているのか。	
			3. 学校給食調理業務等の委託について	(1)新たな委託業者が決定した。今後、安心安全、地産地消、食育をどう保障していくのか。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
13	8	佐藤隆司 (一問一答)	1. 定住促進について	<p>(1)新築住宅課税免除制度の創設により、UI ターン者の定住世帯数の見込みはどの程度見込んでいるのか。</p> <p>(2)市の定住促進に向けた取り組みの成果として、今後、年次計画でどの程度の目標を掲げているのか。</p> <p>(3)市木材利用促進事業や住宅改修促進事業、空き家改修事業などの住宅施策は、より定住促進に繋がるよう見直しが必要と考えるが、その考えはあるのか。</p> <p>(4)石川県内の市町で取り組まれているようなUI ターン者、子育て世代、地元施工業者を優遇する“合わせ技”により、転入者・市民への需要喚起を高める施策が必要と考えるが、その考えはあるか。</p> <p>(5)課税免除制度は市民環境部、住宅地の確保は建設部あるいは土地開発公社、空き家関連施策は政策企画部で取り組まれている。子育てや教育環境の整備を含めた部局の縦横断的な連携をすることで定住促進に対応しなければならない。多様なニーズへ総合的に対応するため定住促進の相談窓口の一本化が必要ではと考えるが、その考えはないか。</p> <p>(6)今後市内外へ向け、更に定住促進の情報を発信していく必要がある。どのような方法を考えているのか。</p> <p>(7)UI ターンの受入や地元での住宅建て替えも見込まれる。分譲地並びに住宅地は十分に確保されているのか。</p> <p>(8)都市計画マスタープランが策定される中、市として住宅地域（住宅地ゾーン）の計画はどのような方針か。</p> <p>(9)6町がそれぞれに持続可能な市街地を形成していくためには、各町において中心部への住居の集約も必要と考える。そのような考えがあるのか。</p> <p>(10)2次総合計画の策定と並行して、定住促進のアクションプランを策定し、具体的実行計画が早急に必要だと考える。具体的な取り組みの計画があるのか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 「健康長寿・生涯現役」の課題解決に向けて	<p>(1) 『健康（幸）なんです。雲南です。』（仮称）都市宣言について 2020年に56年ぶりとなる東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定した。市としても「健康長寿・生涯現役」は「安心・安全」、「活力と賑わい」の3つの課題の一つであり、健康増進やスポーツ振興を図る絶好のタイミングと考える。</p> <p>① 昨年の12月定例会において「健康（幸）の町宣言」の一般質問に対して、「平成26年に雲南市制10周年を迎えるので、そのときにあわせて検討したい。」との答弁であった。「健康（幸）なんです。雲南です。」（仮称）という都市宣言をする考えはないのか伺う。</p> <p>② 「尾原ダム水源地域ビジョン」が策定され、新たにボート競技、自転車競技、トレイルラン、マラソン、ウォーキングなど多彩なスポーツが計画される。既存のスポーツ振興も含め“スポーツ推進課”の創設の考えはあるか。</p> <p>③ 平成22年8月にスポーツ立国戦略、平成23年8月にスポーツ基本法、平成24年3月にスポーツ基本計画が施行され、島根県において平成25年2月に県スポーツ推進計画が策定されている。スポーツ活動による地域づくりと健康づくりを推進するためスポーツ推進計画が必要と考えるが、その考えはないか。</p> <p>④ スポーツ推進条例の制定の考えはあるか。</p>	
14	16	山崎正幸 (一問一答)	1. 農業振興について	<p>(1) 安倍政権は半世紀ぶりに日本農業政策の転換を図り、農業の成長産業化へ方針変更したが、現時点における農業政策に対する所見を伺う。</p> <p>(2) 条件不利地等で、国が目指す農業政策に対応が難しい中山間地域の今後の農業について伺う。</p> <p>(3) 平成30年度を目途に生産調整（減反）を廃止する新たな政策が決定されたが、本市の農業に及ぼす影響について伺う。</p> <p>(4) 本市は農業従事者の高齢化と後継者不足等により耕作放棄地が増加</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>傾向にあるが、その対策について伺う。</p> <p>(5)今後、担い手や集落営農組織に力を注ぎ育成及び支援をすべきと考えるが、方策について伺う。</p> <p>(6)平成26年の水稻の作付面積は前年に比べ60haの減少と伺っているが、その配分方法とスケジュールについて伺う。</p> <p>(7)国は主食用米から家畜の餌として使用される飼料用米及び米粉用米を推奨しているが、雲南市の推奨作物の考えを伺う。</p> <p>(8)飼料用米の作付けに伴う集積施設の考えと販売体制について伺う。</p> <p>(9)農地・水・環境保全制度が廃止され日本型直接支払いに変更され法制化されると伺っているが、現在取り組んでいる農地・水・環境保全制度の協定農地や交付金は、制度廃止後どうなるのか伺う。</p> <p>(10)温暖化により年々1等米比率が低下しているが、今後の対策について伺う。</p> <p>(11)国は今後6次産業化に向け制度を確立する考えであるが、本市の考えを伺う。</p> <p>(12)耕蓄連携の観点からWCS（稲発酵粗飼料）の現状と今後の考えを伺う。</p>	
15	17	堀 江 眞 (一問一答)	1. 合併10周年記念事業に関連して	<p>(1)合併記念事業は、これまでの10年の検証と将来の20周年、30周年に残る記録の保存が重要と思う。</p> <p>①各地区で合併によって消滅した行事はないか。存亡の危機にあるような行事はないか。各地区で検証が必要だと思うがどうか。</p> <p>②吉田町の木の国文化館や大東ドーム等各地区でこれまでとり壊された建物が果たしてきた役割、実績の記録を残しておくべきと思うが見解を伺う。</p> <p>③農具など民具の保存場所がない。学校の一角など使用して、展示も合わせてできないか伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>(2)雲南市文化財について</p> <p>今後、保存・存続していく必要があるものについて、積極的に雲南市重要有・無形文化財に指定するべきではないか</p> <p>①文化財の指定基準を伺う。</p> <p>②深野神楽、民谷神楽、掛合農村歌舞伎、入間地区の花田植えなどなど長い間努力されている行事・団体を文化財指定すべきではないか。</p> <p>③最近吉田町田井地区の土井地区に、江戸末期から明治初期に造られたと思われる川石で積まれた頭首工の遺構があることが確認された。地元の方に確認したところ、木次町湯壺の八カ原の圃場に水を充てるために構築されたものであることが判明した。大正8年に出雲電気によって湯村発電所が建設され、その補償工事で水利が別途確保されたため、この堰（頭首工）の役割を終えている。それから約100年間中央部は壊れているもののほぼ当時のままに残っている。何時、どなたが造られたのか、松江藩もしくは島根県の助成があったか、なかったか、個人の仕事なのか不明だが、当時の貴重な歴史資料と考える。保存して後世に伝えていくべきと思うが考えを伺う。人的破壊を防ぐため早期の対応が必要と考える。</p> <p>(3)鉄の歴史フォーラムを聞いて</p> <p>鉄師頭取御三家のシンポジウムがあった。御三家当主から文書管理の御苦勞と積極的な活用と公開が表明された。市長からも協力の約束がなされた。</p> <p>①奥出雲たたら製鉄に今一度注目を集めるべきだ。市長の具体的な考えを伺う。</p> <p>②安来市、奥出雲町、雲南市で鉄の道文化圏を構成している。鉄師筆頭頭取の田部家を擁する雲南市として是非リーダーシップをとっていただきたい。考えを伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 新市役所建設について	<p>新市役所の計画が進められている。新市役所の壁を飾る壁画、絵画など市民が訪れて楽しい、親しまれる空間やコーナーが必要と思うが考慮されているか伺う。</p> <p>(1)雲南市出身の日展画家も多数あると聞く。今から要請して雲南市に相応しい絵画をお願いする。また、雲南市には全国的に活躍される陶芸家や和紙職人、木工芸家等々多彩だ。ふんだんに活用されるべきではないか伺う。</p>	
16	14	福島光浩 (一問一答)	1. 人財育成と地域力の醸成について	<p>(1)学校教育におけるICT（情報通信技術）の活用が急速に進みつつある。これまでの取り組みに対する評価と今後の取り組み方針について問う。</p> <p>(2)文科省は、小学校での外国語活動において、5年生からの正式教科化、3年生へ開始時期を前倒しについて本格的に検討を始めた。市でも来年度以降の英語教育実施について検討しているとのことだが、取り組み内容・体制など具体的な検討内容、また来年度実施の可能性について問う。</p> <p>(3)文科省は、平成26年度予算概算要求段階において、土曜日の教育活動の推進を目玉事業として掲げている。社会環境、子ども達の生活実態からも、また、これまでの市の取り組み成果からも、同事業に積極的に取り組むべきであると考えているがどうか。</p> <p>(4)統廃合により学校施設の遊休施設化は大きな課題である。特色ある教育環境づくりのためにも、教育機関の誘致、運営母体招致に積極的に取り組むべきと考えるがどうか。</p> <p>(5)自主組織による活動が様々である中、地域力の底上げに重要な生涯学習の推進について、市の明確な取り組み方針、体制が理解しにくい。これまでの取り組みに対する評価、また課題について問う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>(6)自主組織の活動が活発になり、規模拡大、事業化への一步を踏み出そうとする取り組みもでてきている。各種補助金、助成金の活用が有効な手段であるが、額の大きなものについては補助・助成金交付期間までの運営費が確保できない組織がほとんどである。チャレンジしやすい環境づくりにむけ、融資円滑化のための体制整備、また負担軽減のために利子補給制度などを構築すべきであると考えているがどうか。</p> <p>(7)島根大学との包括連携協定に関わる取り組みに対する評価と、今後の取り組みについて問う。</p>	
17	18	周 藤 強 (一問一答)	1. 安全安心のまち づくりについて	<p>(1)豪雨災害に対する危機管理について 先の東京都大島町の豪雨災害対応について批判が相次いだ。 現在、雲南市は福島原発事故以来、島根原発の事故発生を想定した対応に追われているが、当地方にとって災害発生の確率の高い豪雨災害対策の危機管理について伺う。</p> <p>①大島町の土砂災害では、土砂崩れが起こる約8時間前に、気象庁と東京都から共同発表された「土砂災害警戒情報」が町長に伝わっていなかった。結果、避難命令、避難指示が出されず大惨事になったと思われる。大島町の対応について市長の所見は。</p> <p>②災害対策本部はいつの時点で設置するか。流れと組織体制は。</p> <p>③避難準備情報と避難命令と避難指示の違いは何か。それはいつの時点で何を基準に誰が判断するか。また、その周知方法は。</p> <p>④避難所開設を想定した協議が指定避難所の施設管理者との間で整っているのか。</p> <p>(2)土砂災害対策について 全国各地でこれまでに経験したことのないようなゲリラ豪雨が発生している。土砂災害のほとんどが、長雨、大雨、融雪が引き金となって起こり、一瞬にして人命や財産を奪う。砂防工事・治山工事は、山すそ地(谷底地)に居住地がある住民にとっては、生命や財産を守るための最</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 民生委員制度について	<p>も基本的な社会基盤の整備である。その対策について伺う。</p> <p>①島根県は、国の土砂災害防止法に基づき、土砂災害警戒区域（イエローゾーン）、土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）を指定している。その違いは何か。また、雲南市での該当箇所数は。</p> <p>②ゾーンに指定されたことにより、そこに住居を構える住民にとっての影響は。</p> <p>③島根県内は、砂防、地すべり、急傾斜全体で、整備を要するものが5,800箇所余と言われ、全国2位の箇所数である。その整備率は16.5%と進んでいない。市内で整備を要する箇所数と整備率は。</p> <p>④その推進に向けての対応は。</p> <p>⑤いざと言う時に必要なのが安全な避難路だ。予てから「行き止まり道路の解消」の必要性を質してきたが、その後の整備状況は。</p> <p>(1)今年は民生委員、児童委員の改選期であった。選考がスムーズにいかなかった地域もあったと聞く。委員の職務（活動）量の増大等がその一因と考えられる。高齢化、独居家庭の増加など、委員の職務（活動）量は益々増大していく。それにふさわしい報酬（活動費）が求められる。民生委員制度について伺う。</p> <p>①民生委員の職務については、民生委員法第14条において、児童委員・主任児童委員の職務については、児童福祉法第17条において定めている。その具体的な活動内容を示せ。</p> <p>②厚労省のデータによると、民生委員・児童委員1人の1月当たりの活動は、1月当たりの平均活動日数は10.8日とされている。あくまでも平均であり、担当区域によっては、これ以上に極端に職務量の多い委員も考えられる。所見は。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				③時代背景の中で委員の職務(活動)量は、益々増えていく。厚労省は「ボランティア」というが、それ相当のふさわしい報酬(活動費)が求められる。所見は。	
18	9	周 藤 正 志 (一問一答)	1. 定住促進策について 2. 観光・交流人口 拡大策について	<p>県の推計人口によると市のH25.10現在の人口は40,055人であり、危機感をもって定住促進にあたらなければならない。</p> <p>(1)「定住推進協議会」は機能を果たしているか。なぜ、土地開発公社はメンバーに入っていないのか。</p> <p>(2)これからは、大規模な住宅団地から造成費がかからない自然を生かした「ミニ住宅団地」へシフトしていくべきだが、どこがどう担っていくべきか。</p> <p>(3)「新築住宅の固定資産税の課税免除」制度創設は結構なことだが、問題点がある。</p> <p>①毎年1月1日時点の所有者の住民登録を必須条件としているが、柔軟に対応すべきだ。</p> <p>②定住対策にプラス地域経済活性化策でなければならない。免除期間を3年から5年にするなど、地元施工が増えるよう考慮すべきである。</p> <p>遷宮と縁・パワースポットの相乗効果で、県東部はかつて経験したことのない入り込み客だ。市の戦略が見えないけれどもしっかり対応していなければならない。</p> <p>(1)観光・交流施設や商品、おもてなしなど外部の専門家にシビアに評価してもらい、全国的に通用するように「グレードアップ事業」を継続して展開したらどうか。</p> <p>(2)推進母体となる「観光協会」の体制整備ができていないが、いつどのようしていくのか。</p> <p>(3)「トロッコ列車」は車両の老朽化によりH27年以降の存続が危ぶま</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 景観保全・まちなみ保存について	<p>れている。県、奥出雲町、JRとの連携のもと、今後の位置づけと対応はどうするのか。</p> <p>全国どこにでもみられる画一的なまちづくりでなく、市ならではの自然・歴史・文化を生かすまちづくりが必要だ。</p> <p>(1)策定中の都市計画マスタープランでは、景観保全やまちなみ保存にどう関わっているのか。</p> <p>(2)国道54号尺の内の交通安全事業が計画されているが、桜の伐採などありえない話だ。景観保全や吉田町本通りなどまちなみ保存に関する条例や計画を検討すべきだ。</p>	
			4. 行政組織・事業の問題点と対策について	<p>(1)身近な医院でも看護師不足の状況だ。看護師や介護士などの人材確保について市の体制を強化して取り組むべきではないか。</p> <p>(2)「ふるさと納税」の担当部署があいまいなど対応が十分でない面があるようだ。PR方法や推進体制、内容見直しなどを改善し、他市町に負けないよう強化すべきでないか。</p> <p>(3)「工業用水道事業」の将来が危ぶまれるが、どう対応していくのか。</p>	